

■ 地域と学び合い、発信しよう（草津小学校）

1 【活動の趣旨】

校章のモチーフである「なでしこ」の花を育てる活動、学校田での米づくり、野菜や花を育てる活動などを地域の方と共に行う中で、知恵を学び、優しさに触れ、地域や学校への愛着心を育む。また、スクール ESD くさつプロジェクトとして取り組む生活科、総合的な学習の時間で地域の方との学びの場を設け、考えたことを学年に応じたやり方で地域に発信する。

2 【特徴的な活動内容】

○「なでしこの花を育てよう」

草津小 PTA や草津学区ひと・まちいきいき協議会、環境ボランティアや県立湖南農業高等学校の協力を得ながら、なでしこの苗を植え、水やりや草引き作業等、日々世話をし、育てている。

○環境ボランティアさんとの「花いっぱい運動」

校庭に季節の花を植え付け、育て、花いっぱいの学校になるよう活動している。植え付けではボランティアさんと3年生児童が共に作業し、交流を深めた。

○「なでしこ ESD カリキュラム」（生活科・総合的な学習の時間）

各学年の生活科、総合的な学習の時間に地域と連携した活動を設け、「ふるさと」「福祉」「環境」「人権と平和」などのテーマ別に探究的な学習を進め、友だちや保護者、地域とつながりを持ち、主体的に学び、発信する活動に取り組んだ。



【4年
なでしこ ESD カリキュラム】

3 【実施に当たっての工夫】

児童が課題意識を持続し、地域の方と共に解決に向けて行動・発信していけるように仕掛けや教材、地域の方との出会いを工夫した。

5年生の米づくりの学習では、「お米感謝祭」を開き、地域の方への感謝の気持ちを伝えると共に、体験を通して学んだことや今後大切にしたいことなどを、工夫を凝らした方法で発信した。



【5年 お米感謝祭】

4 【事業の成果】

継続して取り組んでいることで、ボランティアの「私たちが草津小学校の教育活動を支えている」という誇りや生き甲斐につながっている。関わりが深まることで児童は「地域の方に見守られ、共に学んでいる」と感じ、豊かな心の成長や学びの深まりにつながっている。

5 【事業の今後の展望】

年4回の学校運営協議会で協議しながら実施している。ボランティアの方々の高齢化もあり、活動に保護者や地域の方々の新たな参加協力を得られるよう、今後も学校から発信していきたい。スクール ESD くさつプロジェクトについても今年度の取組の成果と課題をふまえ、充実・発展させていきたい。